報道関係者　各位

平成２８年９月２１日
宗像市役所農業振興課

巨大きのこ「ニオウシメジ」の収穫の時期です

宗像市

農業体験レジャー施設「正助ふるさと村（宗像市武丸）」では、巨大なキノコ『ニオウシメジ』の収穫の時期をむかえ、今が最盛期です。

ニオウシメジは、大きな株では直径１メートルを超えることもある超大型きのこで、食感はエリンギに似ており、炒めものなど食用としても優秀だといわれています。正助ふるさと村では、３年前、初めて栽培に着手し、直径３０センチを超える株を育てることに成功しました。福岡県では唯一の栽培であり、たいへん希少価値が高い新たな特産品として期待を寄せています。

◇　◇　◇　◇　◇

※ご取材いただける場合には、1 週間程度（9 月 29 日ごろまで）が見ごろとなりますので、お早めにご取材いただけますよう、お願いいたします。

【経緯】

〇H25 年度　シメジ型で成育　→　〇H26 年度　失敗　→　〇H27 年度　エリンギ型で成育

■玄界灘に面した宗像市神湊の「さつき松原」の一角で2007 年 10 月 16 日、草取りのボランティアをしていた九州国際大学（北九州市八幡東区）の学生３人が、巨大なキノコの株を見つけた。
専門家によると「ニオウシメジ」。１００本を超す柄（かさを支える部分）が半球状に集まった株は、直径約１メートル、重さ約３５キロあり、県内で発見されたキノコでは最大級という。

【問い合わせ先】
◇正助ふるさと村　三浦（みうら）　　住所：宗像市武丸１９９
TEL：０９４０－３５－１１００　　FAX：０９４０－３４－４０６６
◇宗像市役所　農業振興課（担当：前田　元岡）住所：宗像市東郷１丁目１－１
TEL：０９４０－３６－００４１